



に

じ

に

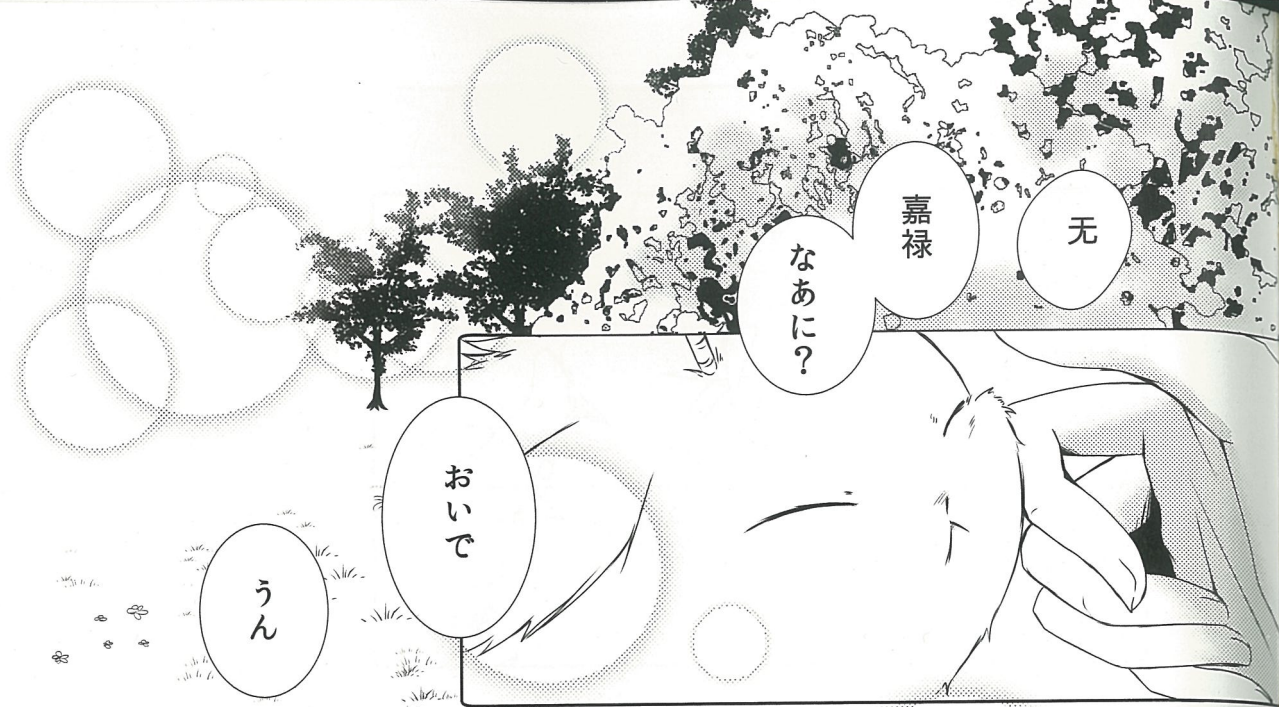
届

い

て

。

R-18



无

嘉禄

なあに？

おいで

うん



俺、また嘉禄に
ぎゅってハグ
して欲しいな…

うん、
いいよ

ハグ、
しようか

もつと
近くに
おいで

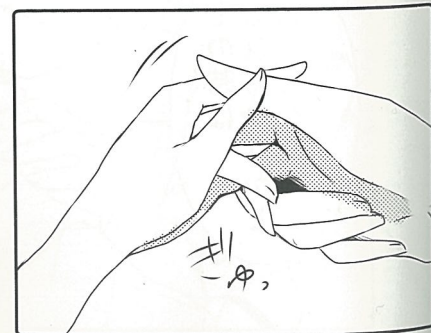
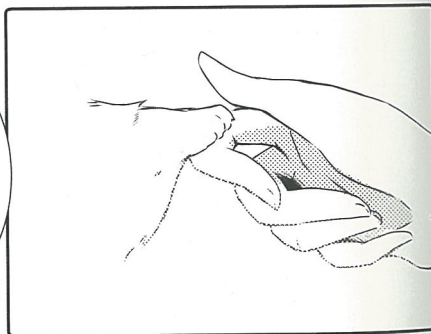


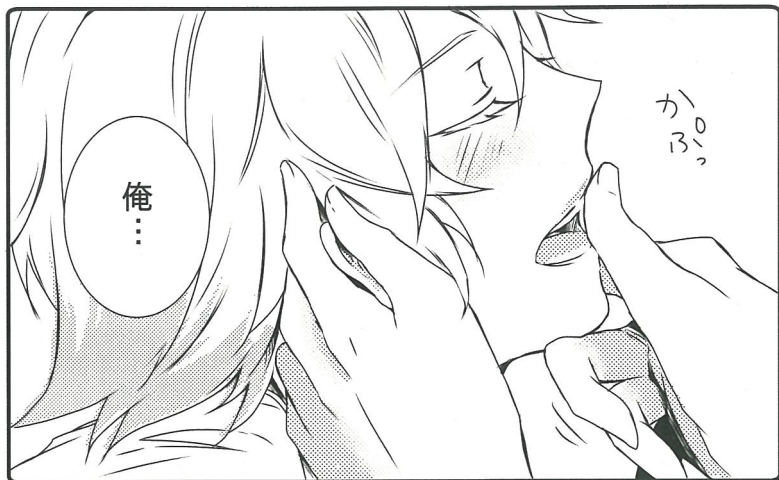
俺、ハグ
好きだなあ…

无は暖かい
のが好きだ
からね

うん…

嘉禄…もつと
俺の事触って
欲しいな。





俺…

か
い
ら
っ

じゃあ、
どこを触ろうか。

いいよ。



寂しかった

嘉禄が
居なくなつて
ずっと寒かつた。



その時は
壊れちゃうかと
思つたんだ

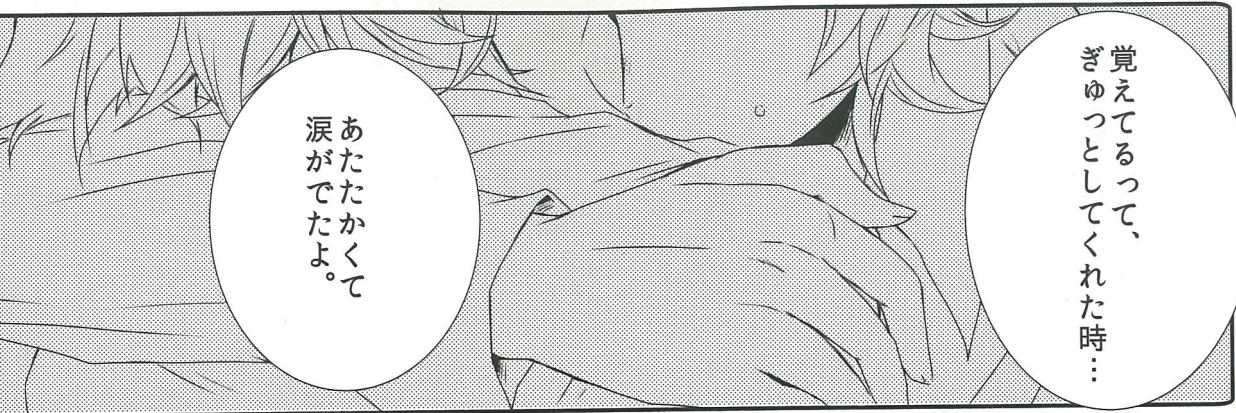
嘉禄にまた会えて、
でも、嘉禄が俺の事
知らないって…



ここがいい…

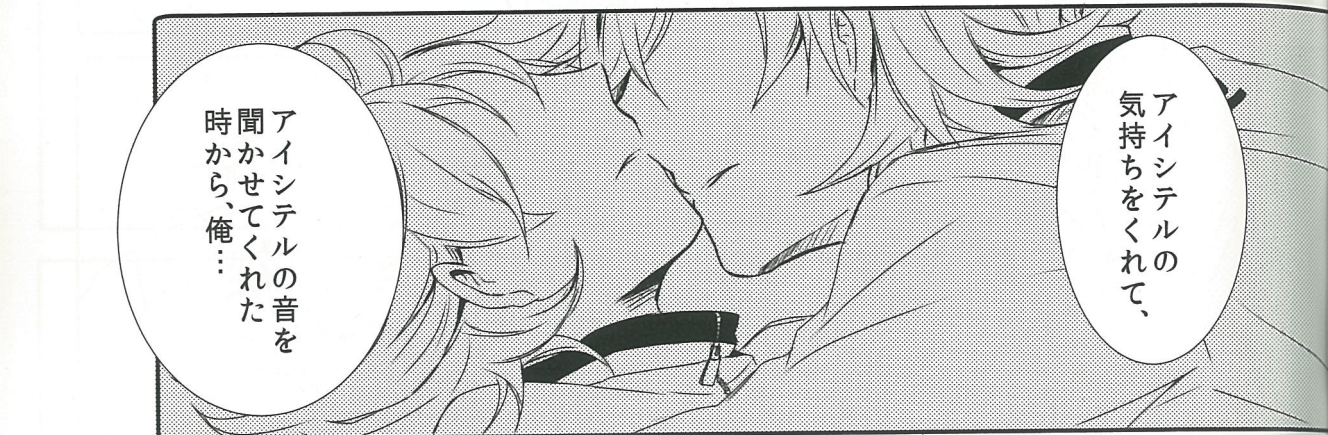
俺のここね

ハ
ー
ゆ
う…



覚えてるって、
ぎゅっとしてくれた時…

あたたかくて
涙がでたよ。



アイシテルの
気持ちを入れて、

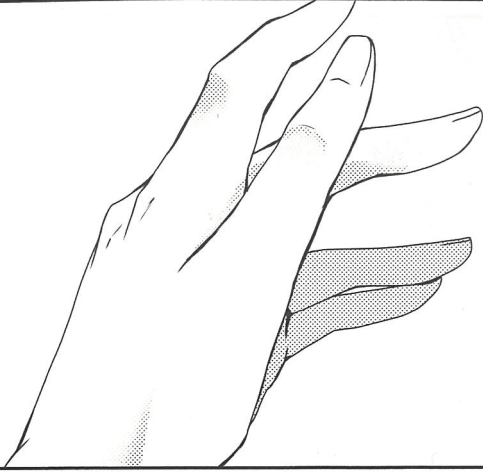
アイシテルの音を
聞かせてくれた
時から、俺…



あつくて、
熱くて…
たまらないんだ…

でも、
嘉祿に

触って欲しくて
仕方がないんだ…



俺のだいすきな
その手で


もっと触って

嘉禄が大事な気持ち
くれた時みたいに



俺を、

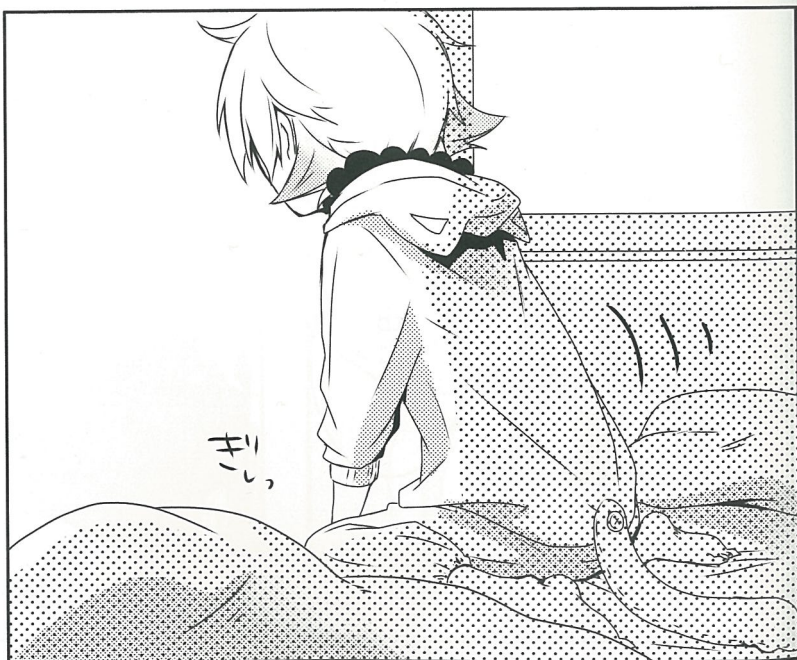
見て――

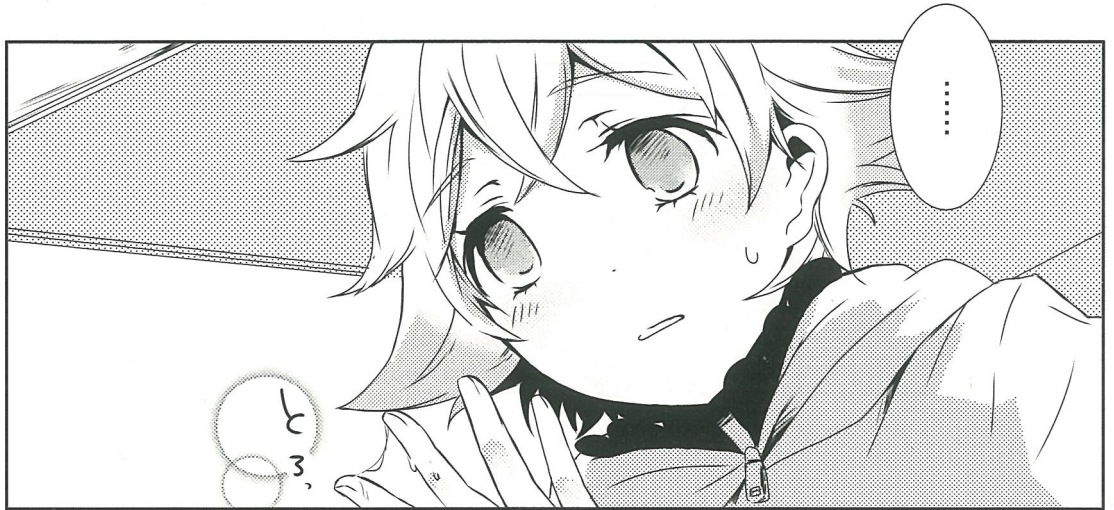


忘れられない
あの甘い音をまた
俺に聞かせて……

もっと、
もっと……

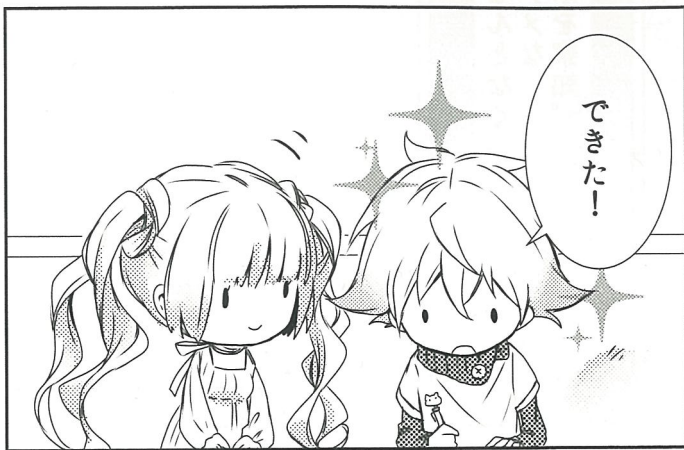
俺を……





なんか...

出た...?



できた！



ツクモちゃんなら
朝の事…教えて
もらえるかな…？



あの…
ツクモちゃん！

无くん、
ここは少し違うわ

あ！

前回のやった所と
同じように考えれば
解けるわ。



な…
なんでもない。

モじっ



なんとなく
ダメな
事を察知。



なあに？
无くん。



俺！
もう少し
やる！

无君は
頑張り屋さんね。
終わったら與儀が
おやつ用意して
くれてるみたい。

わーい！

私はイヴァ
の所に行く
から…

ツクモちゃん、
ありがとう！



あゝ!!

无ちゃん！
待ってたよおゝ



…。
質問…
できるかな…。



无の隣!!!!

嘉禄

だ。



お勉強
終わったのー?

うん!

お疲れ様!
お菓子あるよ、
食べて
食べて〜!

與儀
ありがと!



无、
今日は何の
勉強したの?

今日は算数だよ!

わ、

あ
えと

……字、書くの好き……

あ、えと
国語……かな?

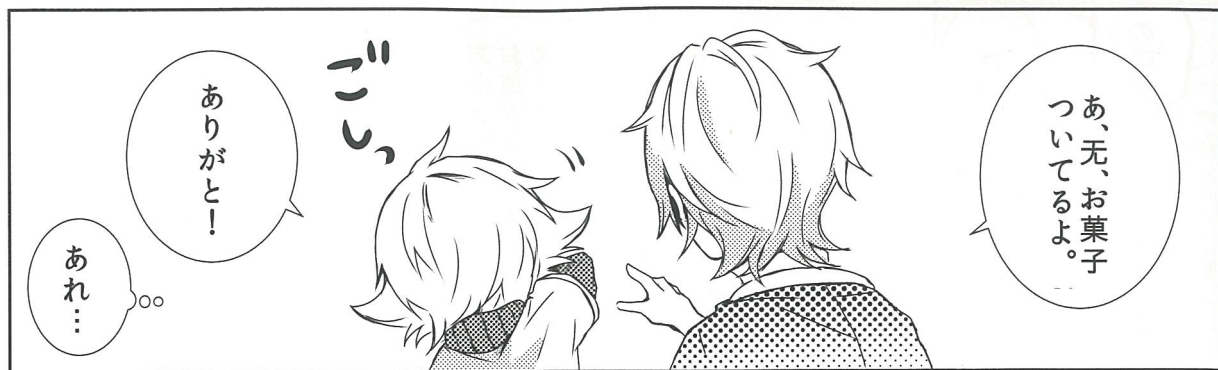


そうなんだ、

无は何の勉強が
一番好きなのかな?

ビクッ

?



あれ!?

嘉禄…今日の夢みたいに
俺のこといっぱい見てる
ちよつとはずかしい…

でも、俺の隣に
近くに嘉禄が
居る

うれしい

うれしい

あたたかい

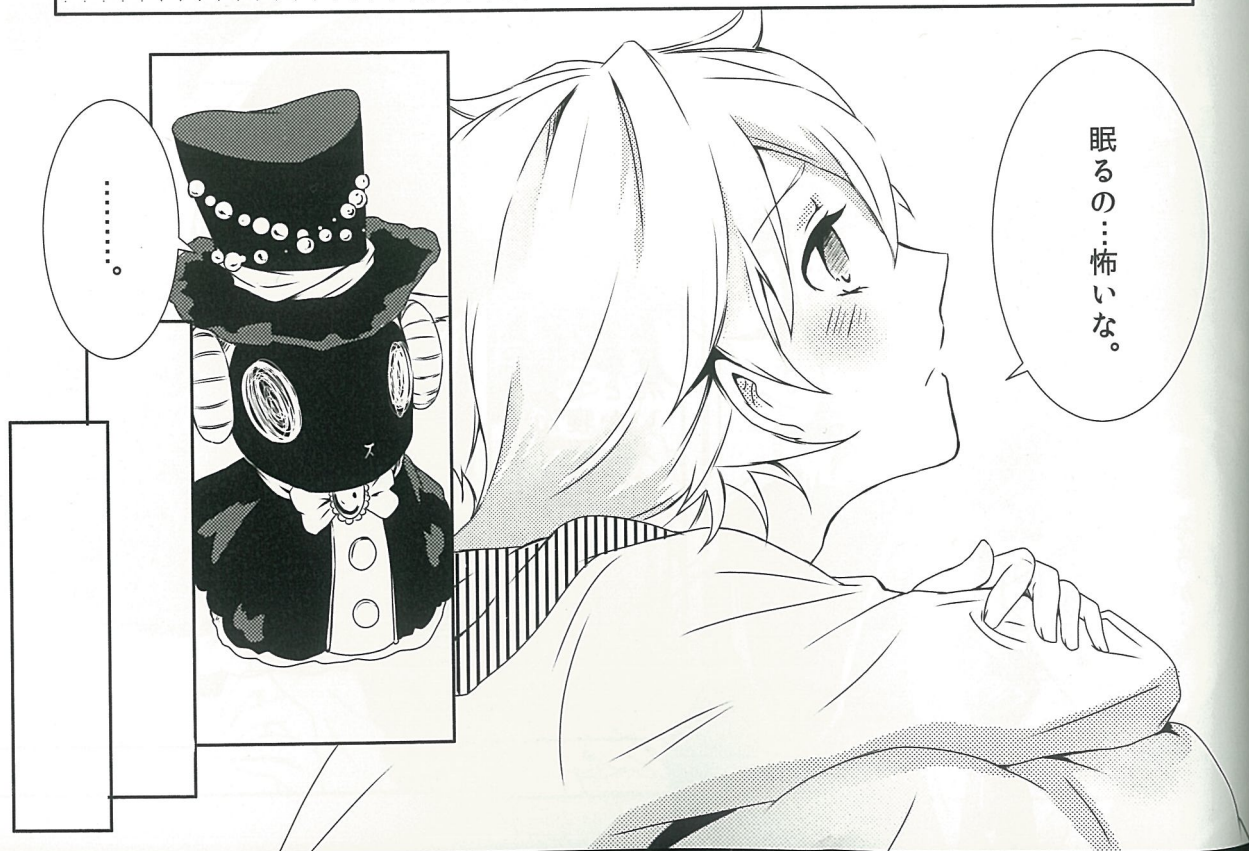
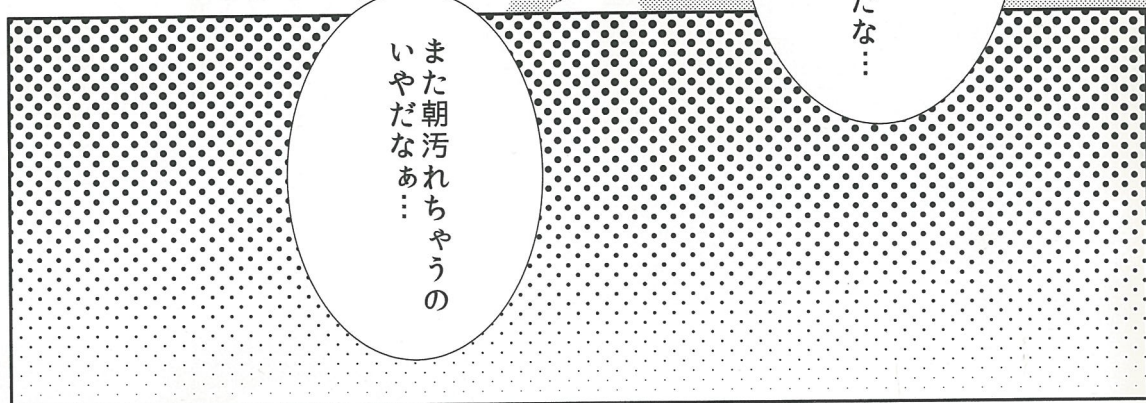
いい今…

目を逸らした!!

明らかに
目を逸らした!!!!

无!!?





さあ、

貳號艇の子供達の
近況報告を。

皆それぞれ元気
にしているか？

メエ

ツクモはいつも
通りだメエ
ニジのぬいぐるみを
作成中だメエ

與儀は最近
ニヤンペローナを
待たせている子に
会えていないって
泣いてたメエ

花礫は沢山勉強を
していて偉いメエ

无はどうした…？

数日に一度とつても
落ち込んでるメエ…
それで寝不足気味メエ。
なんとかして
あげたいメエ。

そうか…

というわけで
まかせたぞ花礫。

え、普通にヤダ。

…ハア。

可哀想に、无は
何か悩んで
いるようだ。

最近、
眠れていない
ようだな…

よろしくな！

くっそ
!!!!

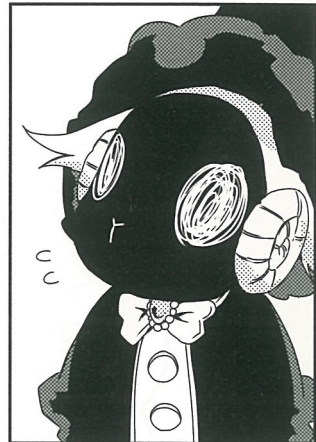
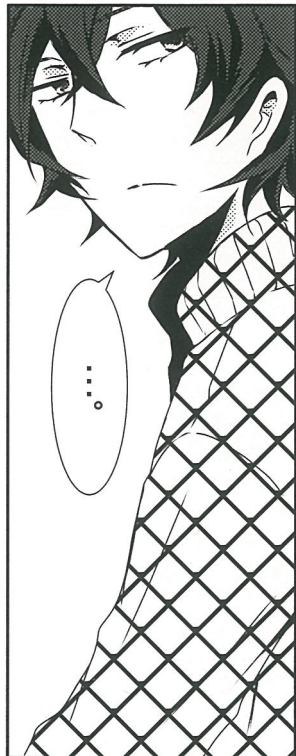
もら、た=0

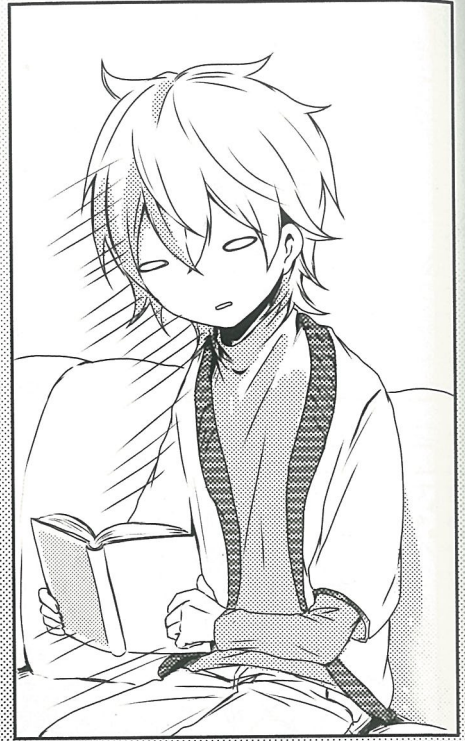
お…俺

関係ねーし…

俺が聞いても
大丈夫だと
言われてしまう。

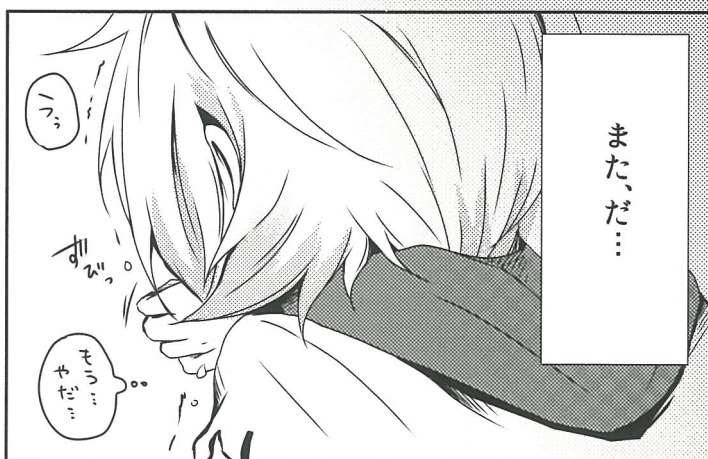
羊も非常に
心配して
いる。

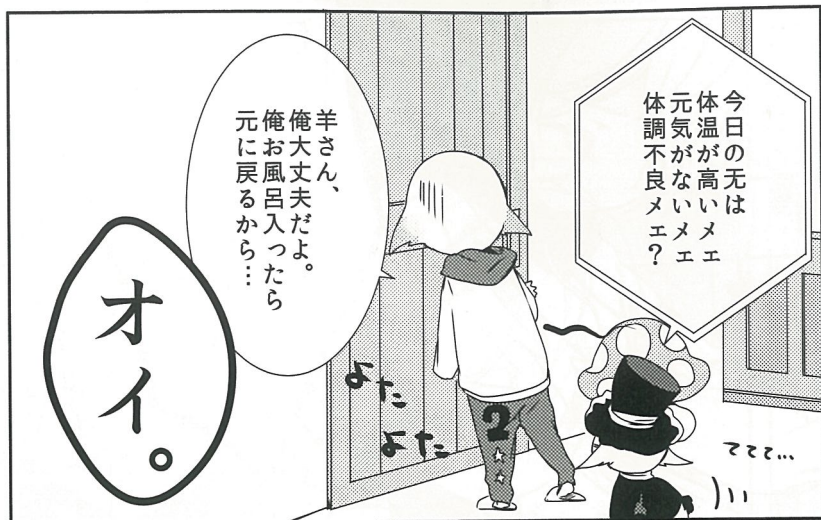




.....









気持ち悪いから
ダメ!!!

っ痛、

あ…
花礫…

ごめん…



……

……
ちが、花礫が気持ち
悪いんじゃないって!

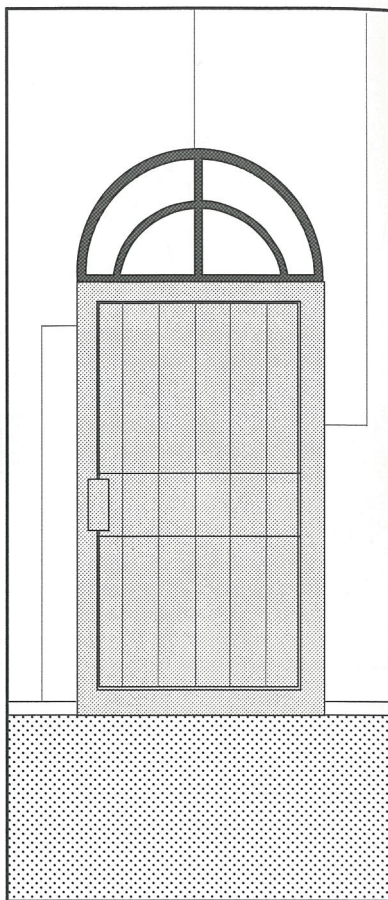
俺…その、おれ!

ほ、ほんとの事
言うから!
花礫いいい

……

……





だだだだだ



※12巻163P参照



无が…

无が下着姿で俺の
ベッドの上に居る…!!!!

じゃなくて
!!!!

何で无の事をぱんつ姿で
外連れまわしているんだ!
デリカシー無さすぎるだろ!!!

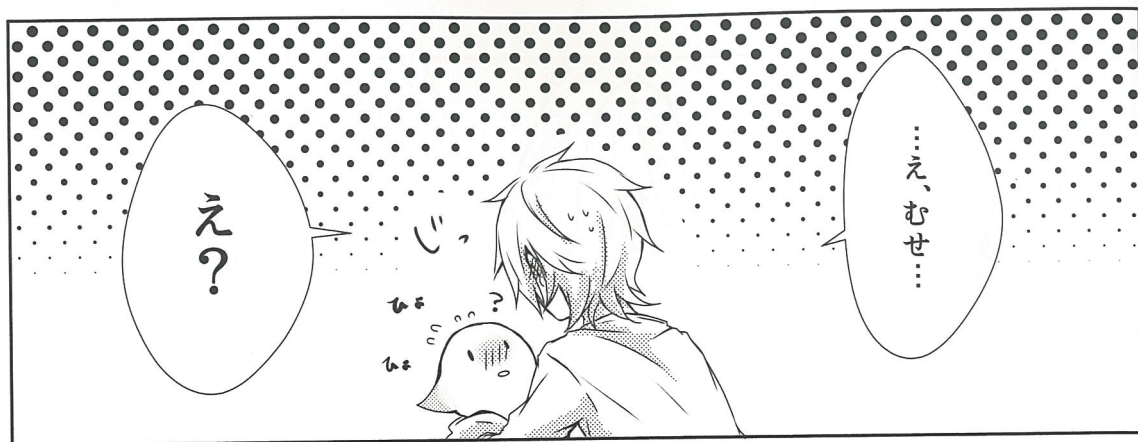
うるせえ
!!!!

こつちだつてなあつ
イツパイッパイ
なんだよ!!!

はあ?

君の事情なんて
知らないよ。
俺が知りたいのは
何で无がパンツ姿
なのかであつて…







花礫...

10月

君が教えた方が
安全だったかもしれない...

布団の上！
ぱんつ姿の无
无の生足！！
腰が重い!!!

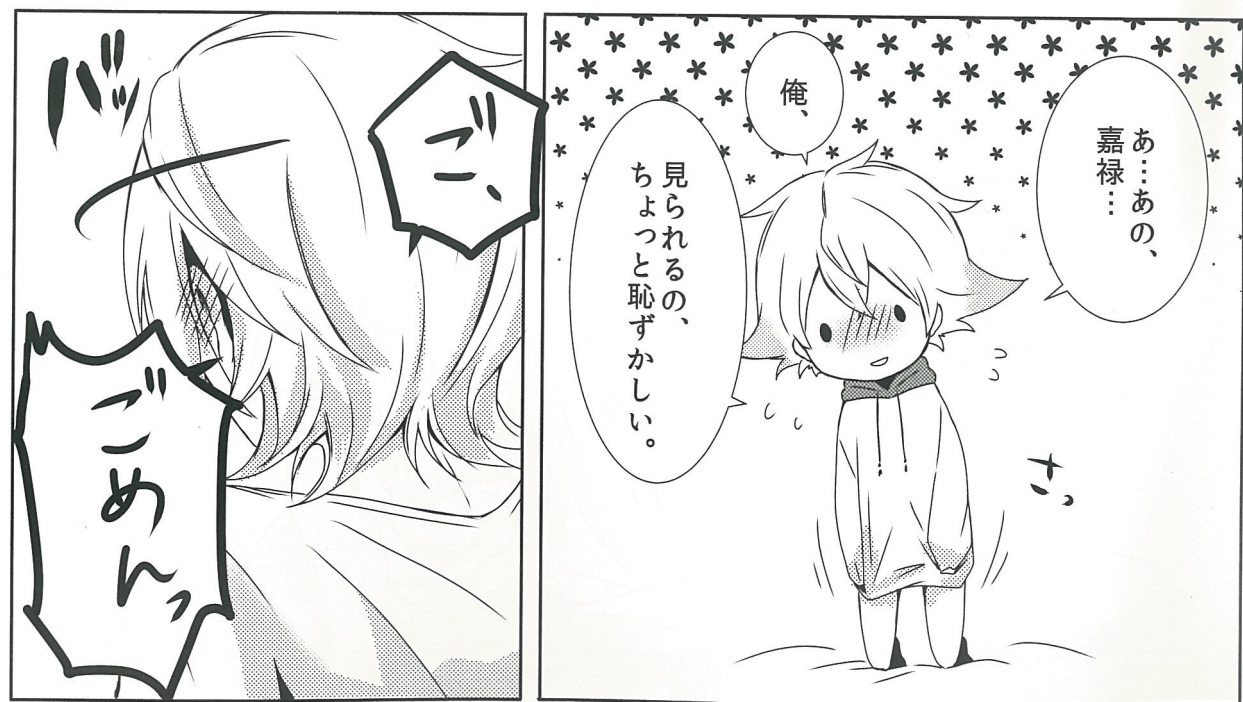
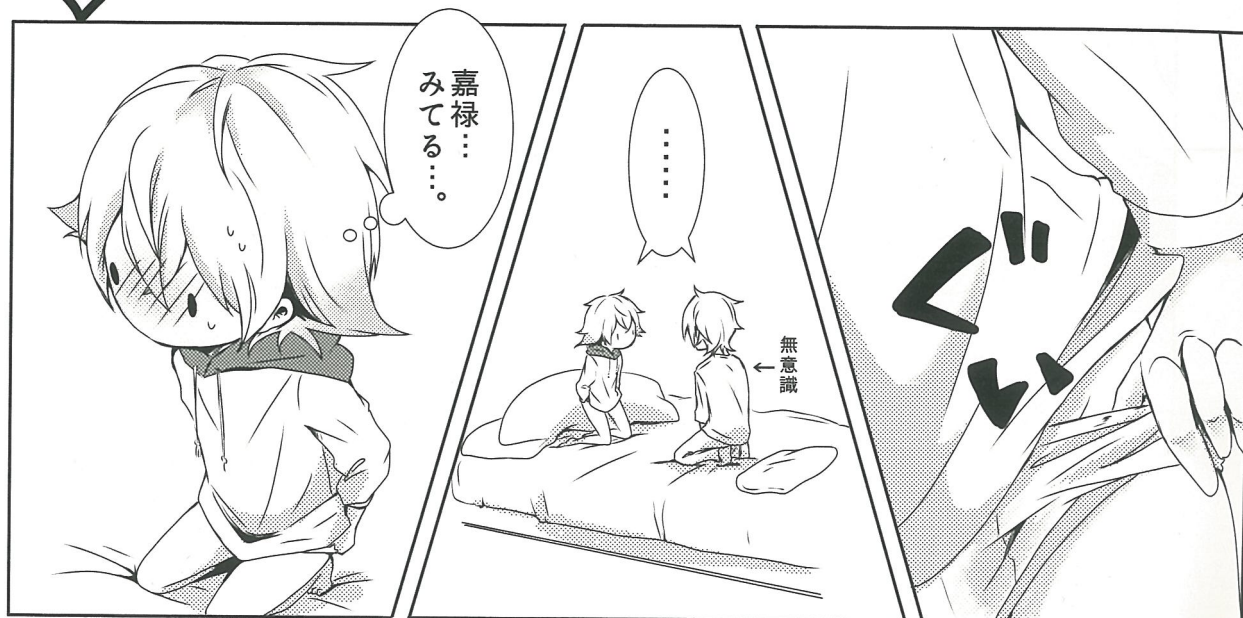
o.

!!

あまああ
はっ握りしめる
无からいーいー!!!

ずい...







ああ…无も
そんなお年頃に…

お祝いしなきゃ…!

ぶい



嘉祿、

でもちよと
すれい!!!

その…
ごめんね。



俺…自分がどう思われて
いるかどうかばかり
気にして…

謝るのは俺の方だ…
无がこんなになるまで
気付けなかった…
ちゃんと見てなかった…

无、

こっちにおいで



寝てたでしょ?
あと…俺…俺ね、

ああ…无



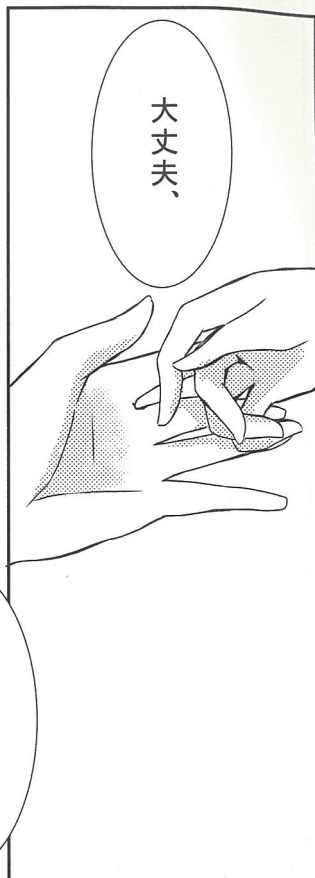
俺…

言えなくて…!

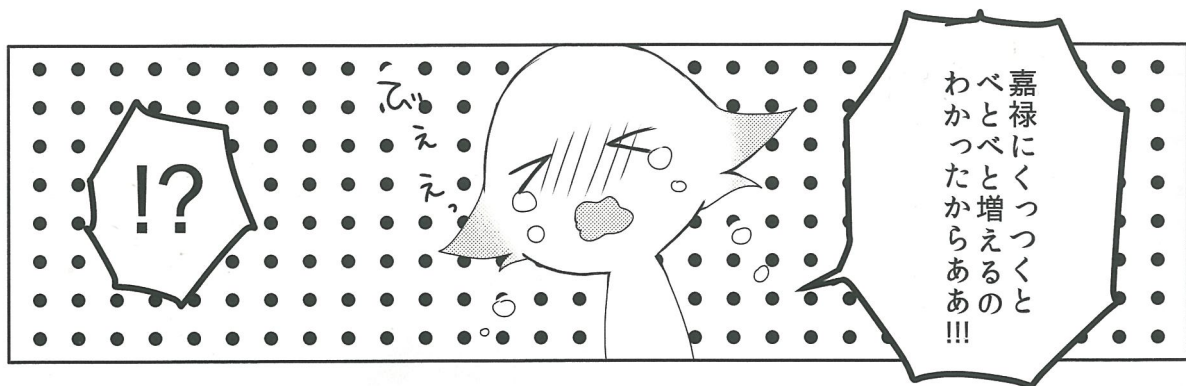
ぼた
ぼた



もう大丈夫だよ、
无。



大丈夫、



!?

えええ

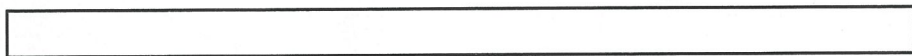
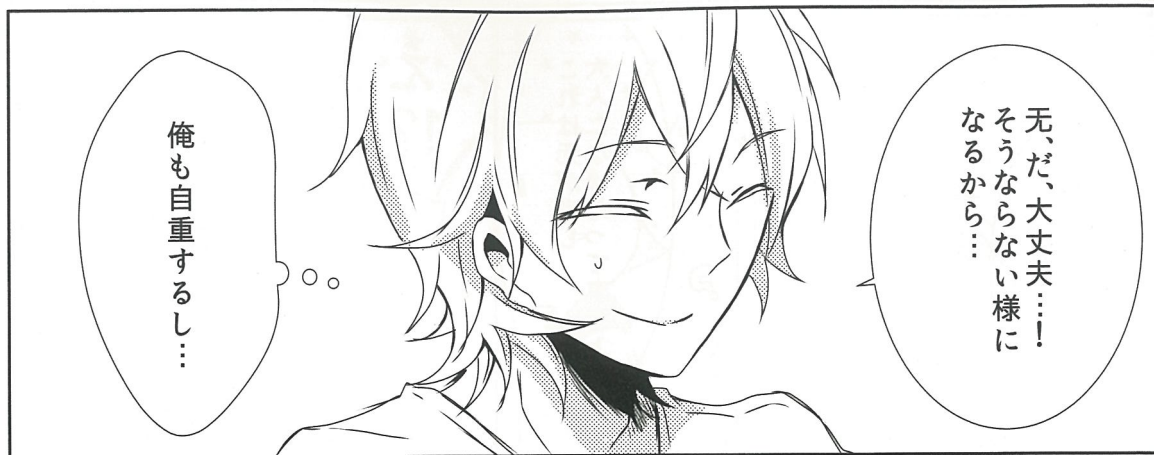
嘉禄にくつつくと
べとべと増えるの
わかったからああ!!!



本当…

すみません。

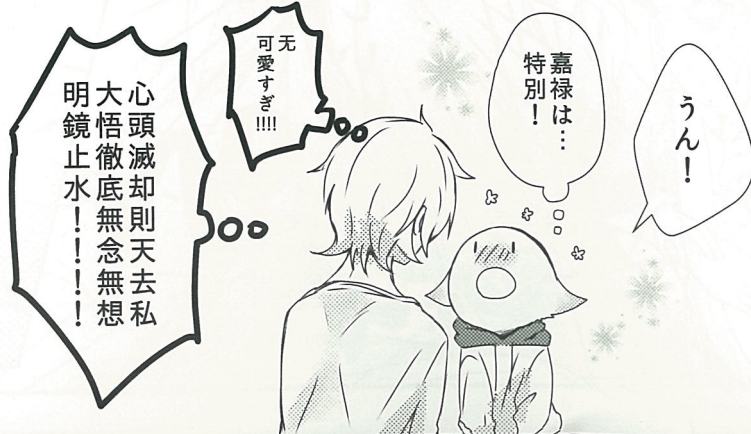
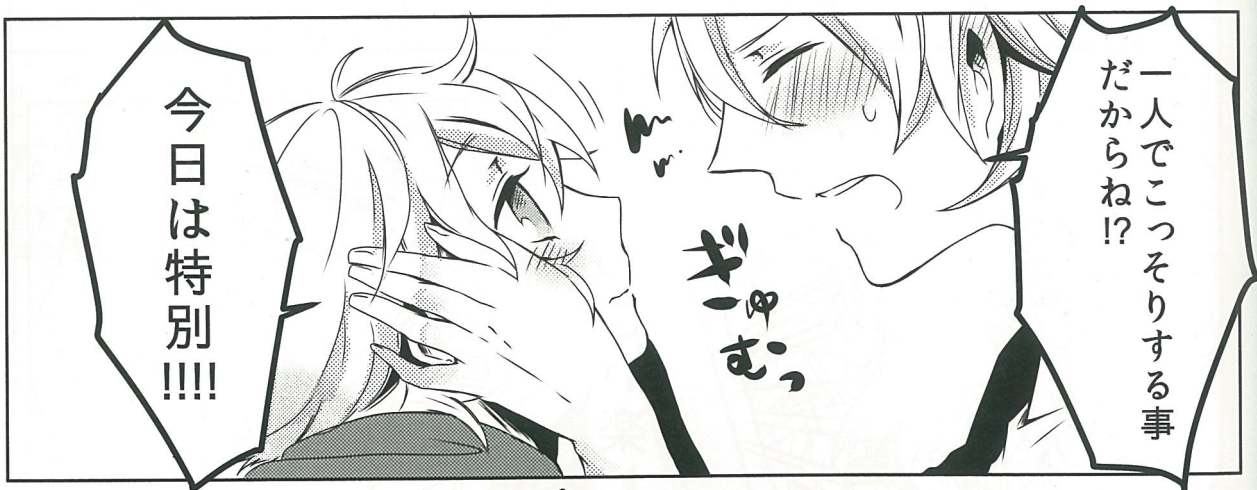
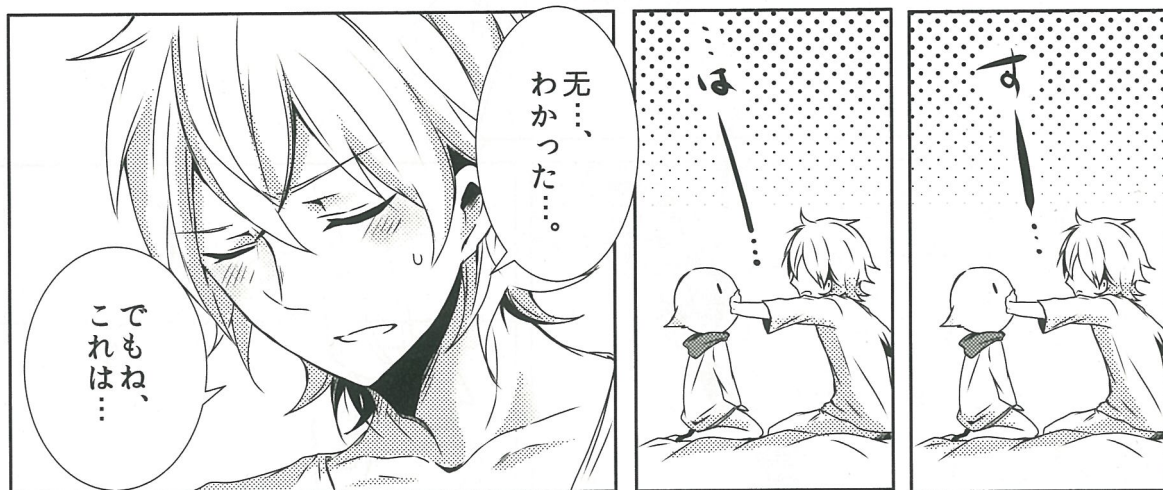
やっぱり俺が…
無意識に无の性を
イタズラに刺激を
していたのか…!!!!

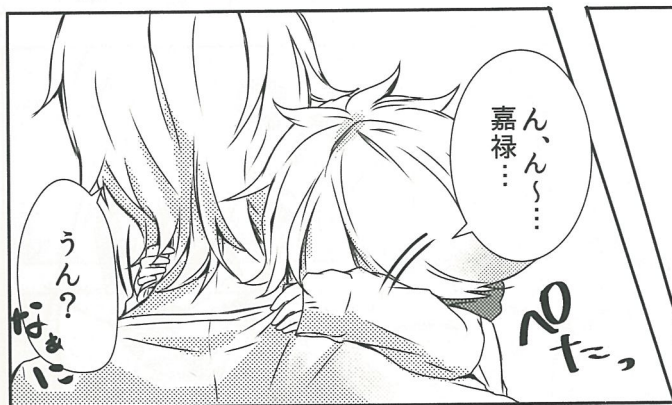


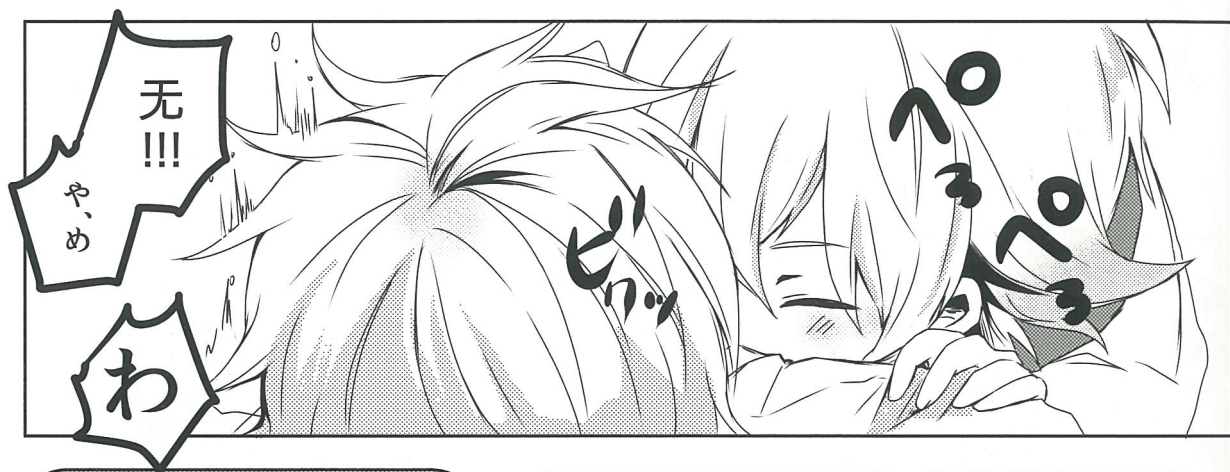
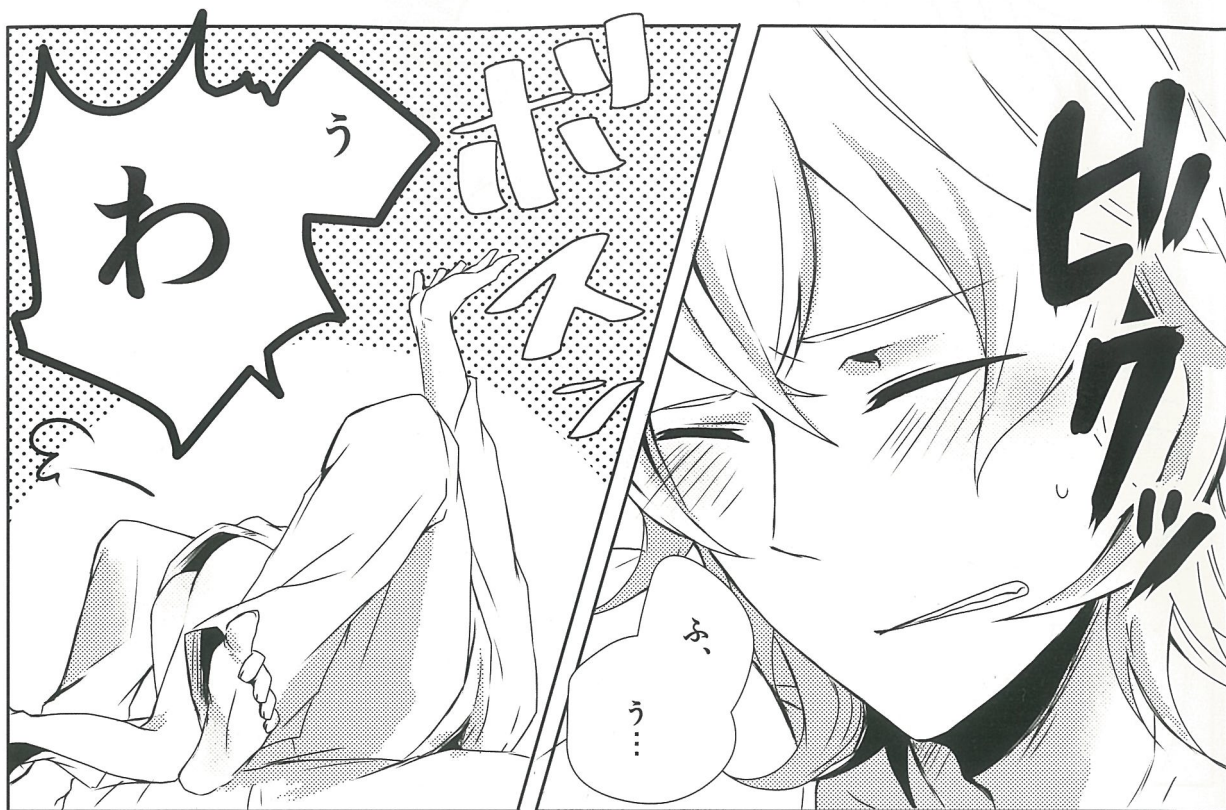


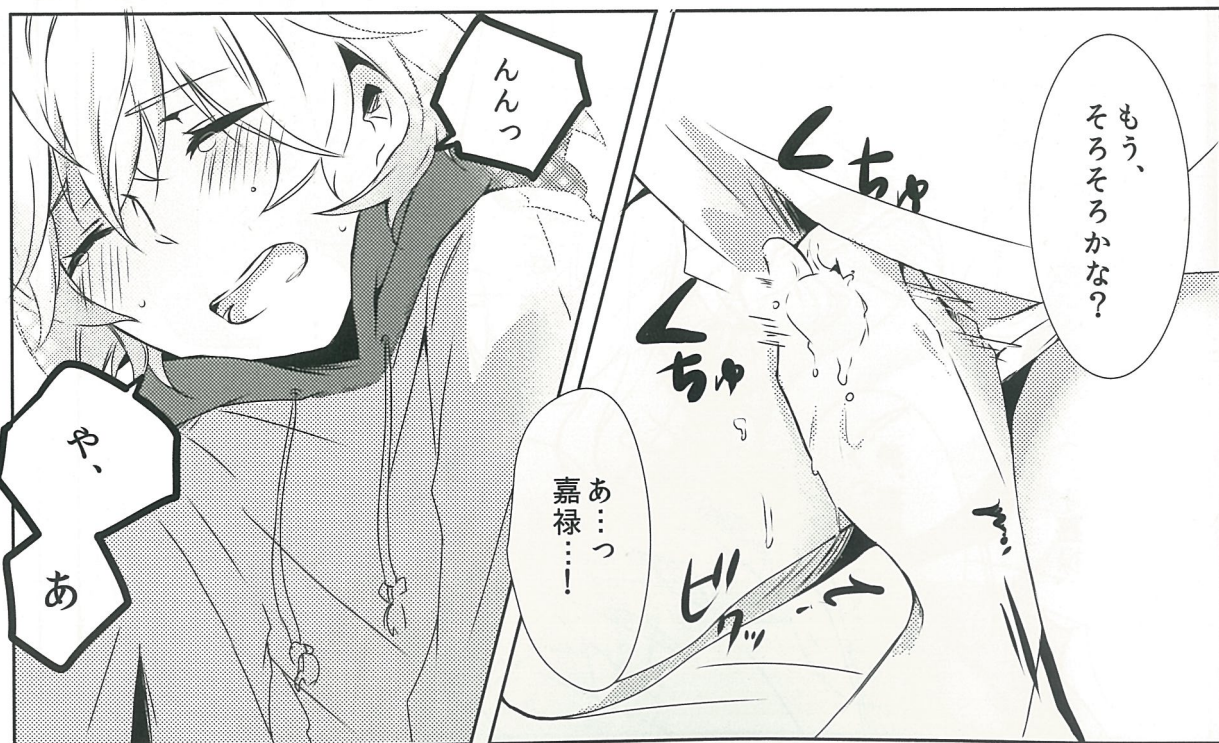
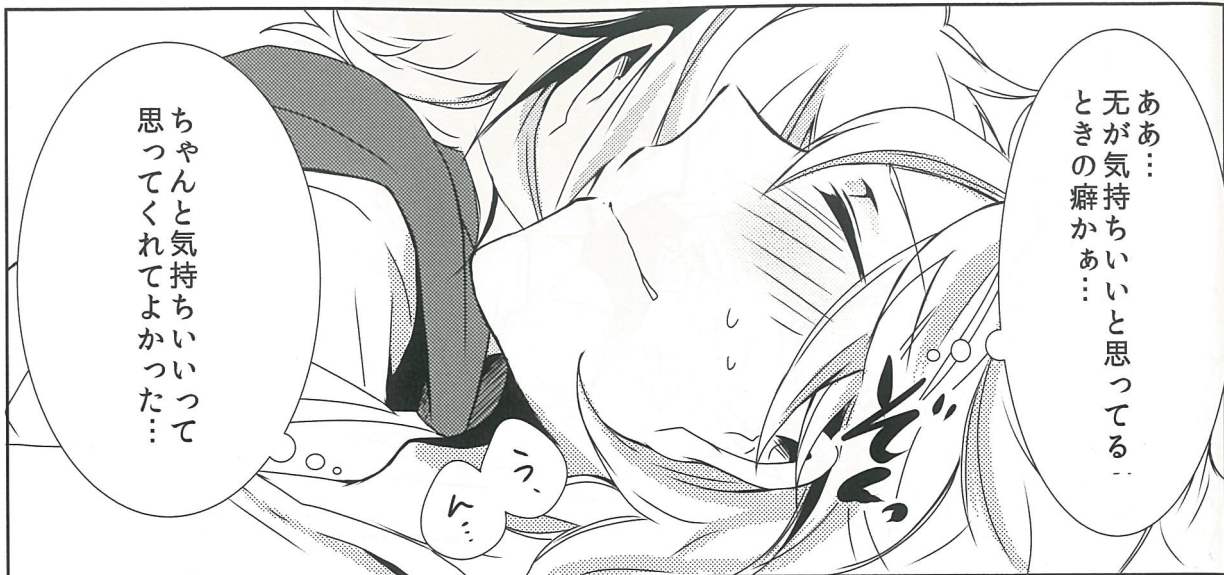


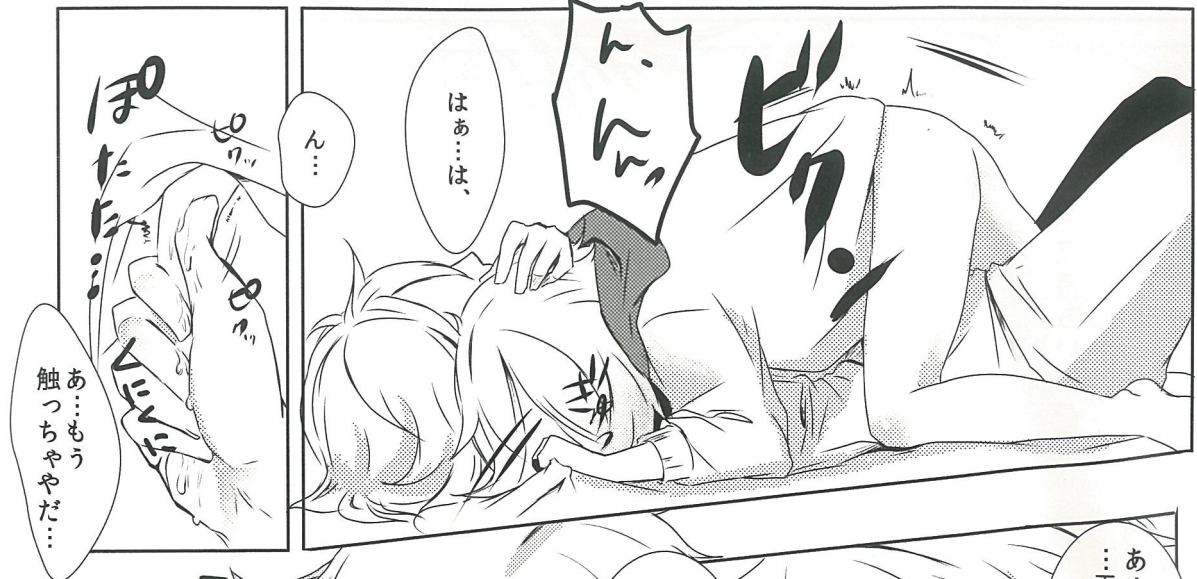












ほたけ...
ふふふふ
あ...もう
触っちゃだ...

ん...
はあ...は、
ん、ん、ん、
ビク...



ふふ、
嘉禄
くすぐりたい

勉強するって
言ったのに...

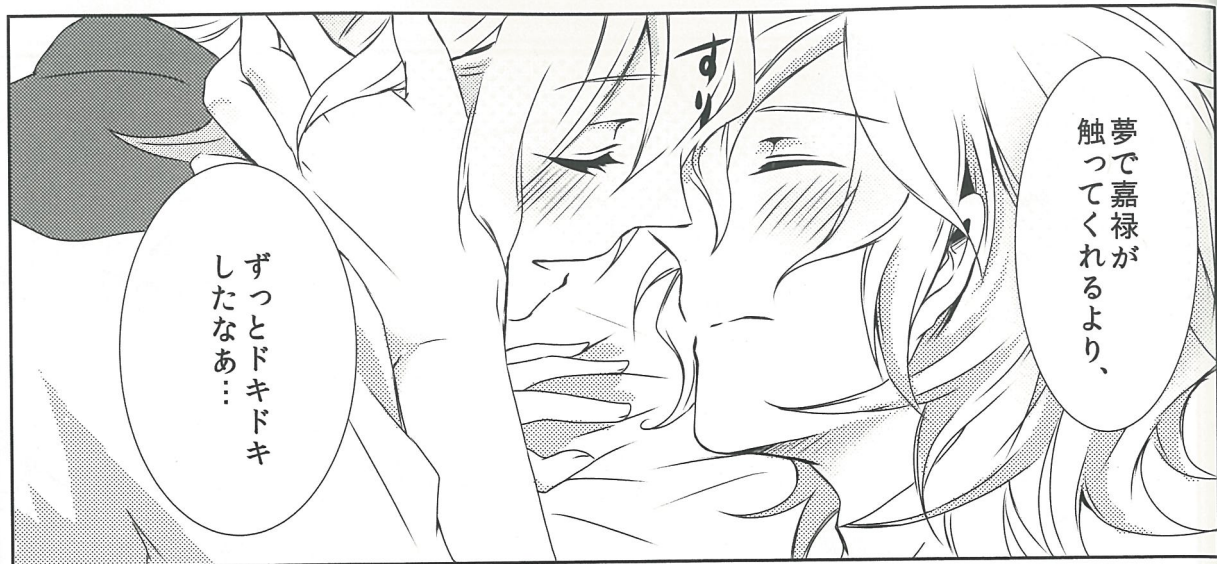
あ...ごめんね。
...无、わかった？



...嘉禄、
俺ね...

.....
...うん。

ぽろ



夢で嘉禄が
触ってくれるより、

ずっとドキドキ
したなあ…



嘉禄に

ゆめでおれ…

うん…

いっぱいさわって
欲しいってお願い
するんだ…

でも、いま
ほんとうに嘉禄に
触ってもらって…



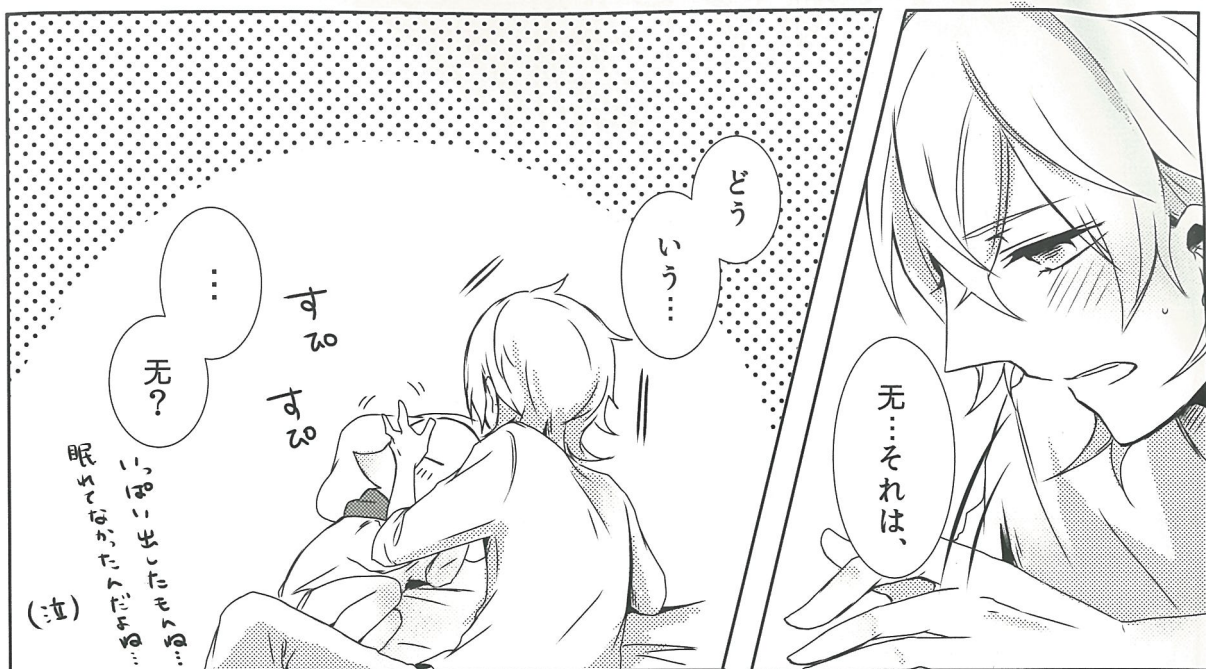
え!
!?

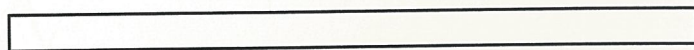
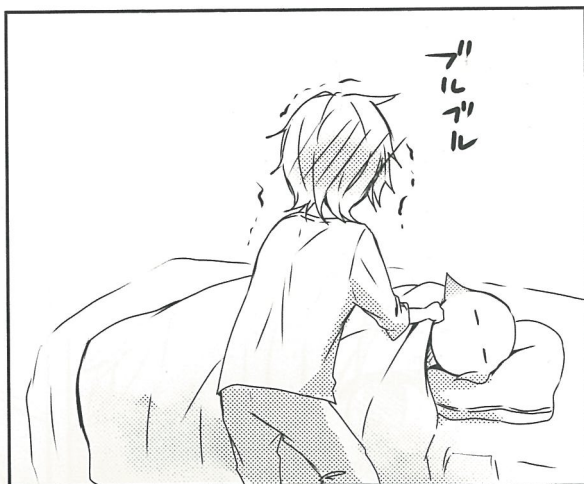
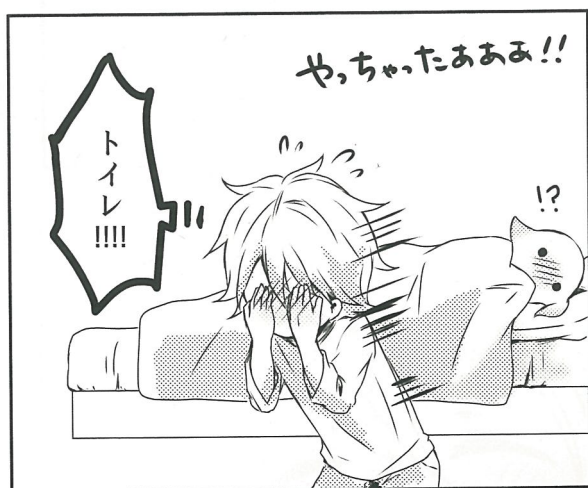
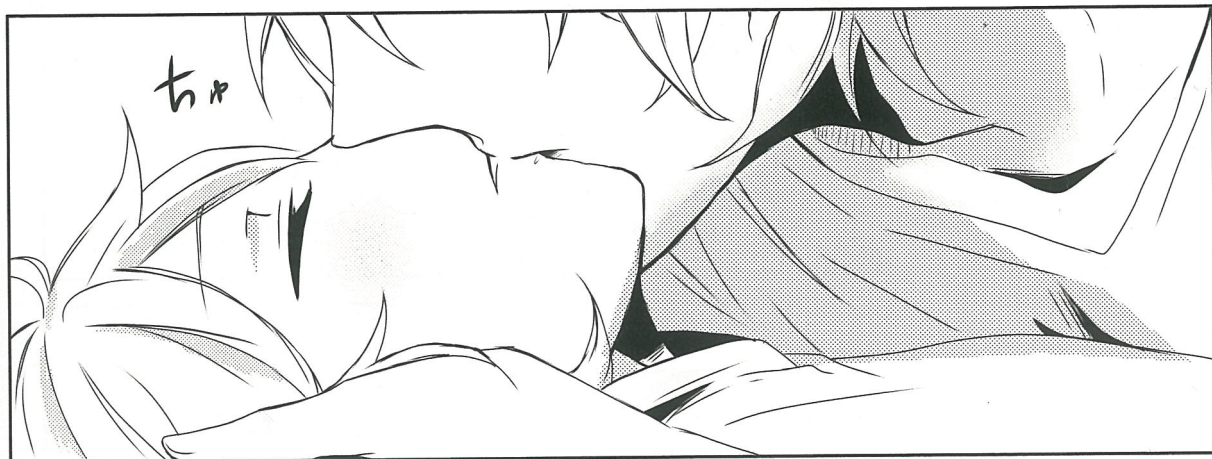
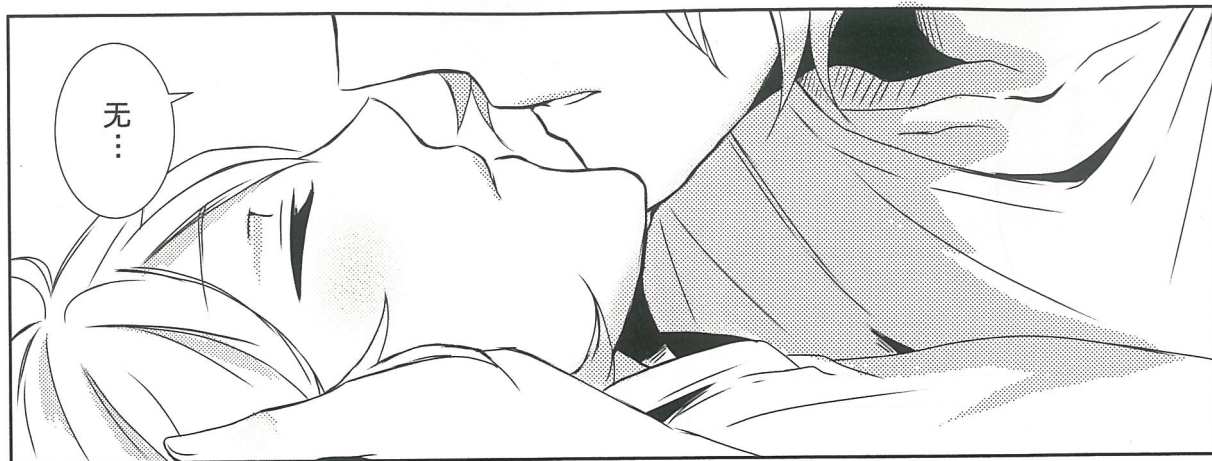


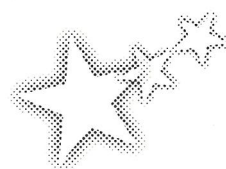
うれしかったなあ…

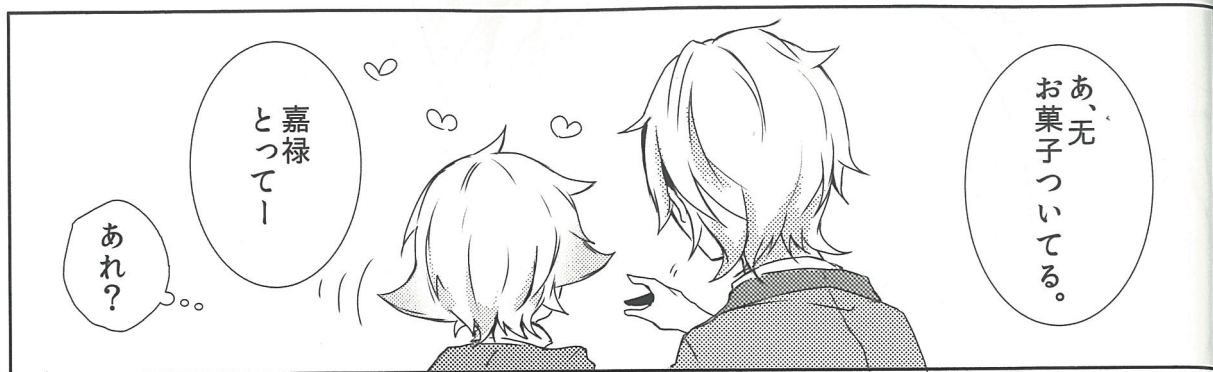
俺、嘉禄と
くっついてると

うれしいが俺の中で
いっぱいできゅーって
なるんだ!







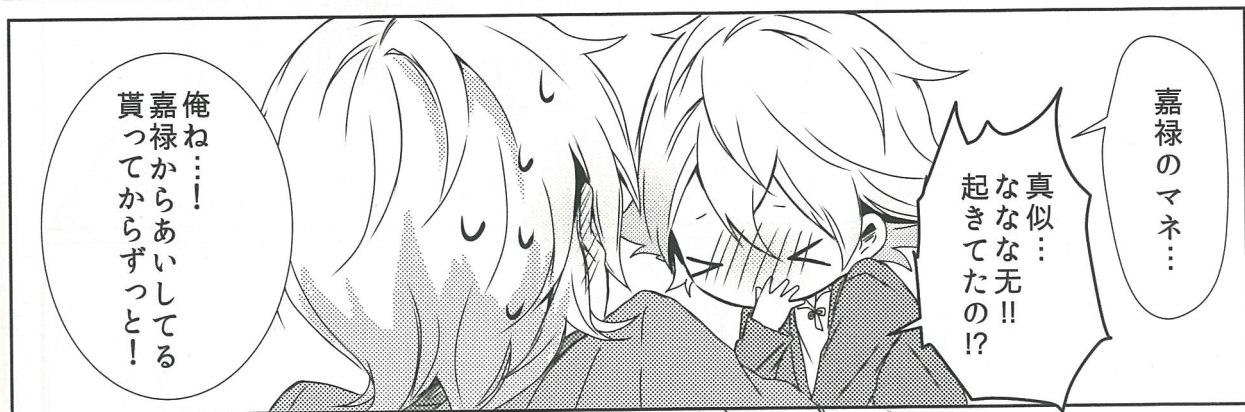
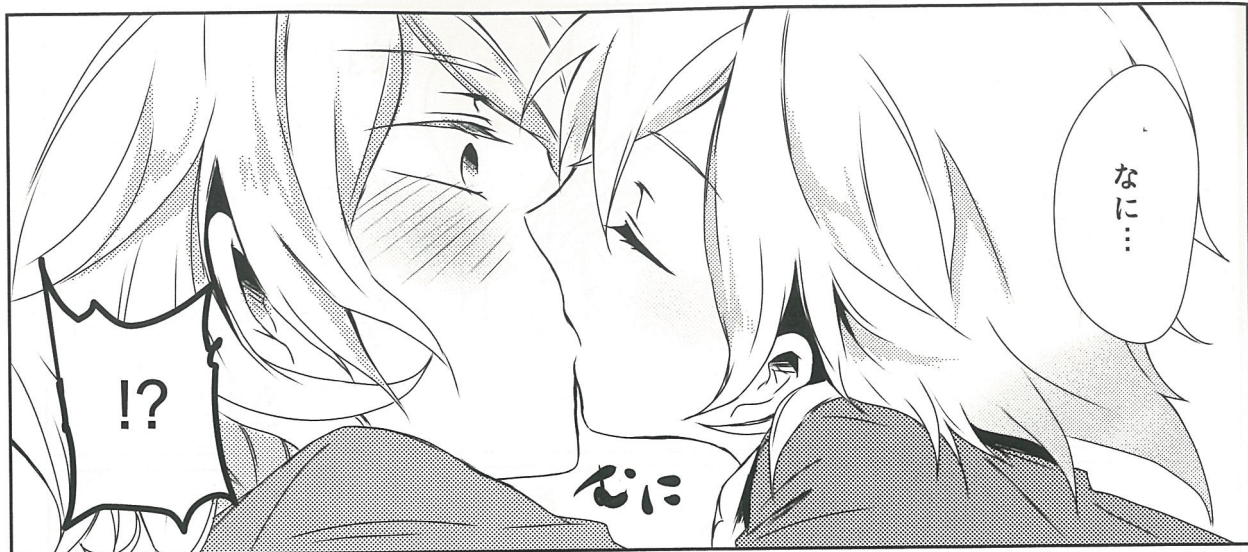


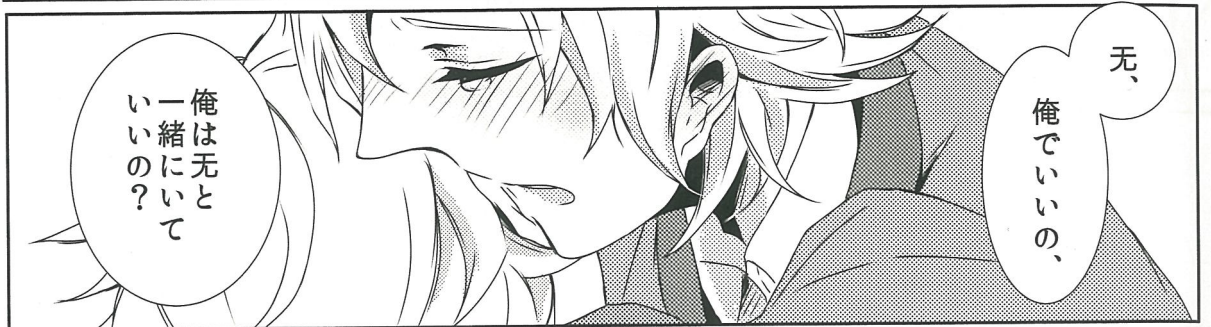
ああ…もう…

嘉禄、

うん？

好き
!!!!





嘉禄は俺の
特別で大切なんだ...

親愛なる虹へ捧ぐこの感情は

虹に届いて

愛になる



こんにちは、またははじめまして。

この度はお手にとっていただきありがとうございました！

嘉无ちゃん本2冊目です。

嘉禄和无ちゃんが合流できて、記憶も取り戻して、一緒に生活してる事が本当に嬉しいです…同棲生活妄想し放題です…ごちそうさます。

そしてお天使のR18本とか本当にすいませんでした…orz

无ちゃんへの愛しさが罪悪感の壁を超えました(

少しでも楽しんで頂けたら嬉しいです…

ここまで読んでいただきまして、ありがとうございました！

虹に届いて。

発行日 2014.10.12

発行 BReeZy

発行者 そよ子 twitter:@soyoko_clock

pixiv:926708

mail:vi1nr0uge@hotmail.co.jp

印刷 POPLS

禁・無断転載・複製・ネットオークションへの出品



karneval fan book/BReeZy
